



出張報告書

令和 5 年 3 月 15 日

尼崎市議会議長 様

会 派 名 日本共産党議員団
代表者氏名 川崎敏美
出張者氏名 山本直弘

このたび、出張しましたので、次のとおり報告します。

- 1 出張期間 令和 5年 2月 8日から令和 5 年 2 月 9 日まで
- 2 結果の概要

| | |
|---|--|
| 用務先 東京都 千代田区 | 報告事項 (この欄には要点を箇条書きにし詳細事項がある場合は別紙添付) 1 収入の基礎徹底解説 2 支出の基礎徹底解説 3 財政収支の見方 4 財政指標の見方 5 |
| 添付書類 <input checked="" type="checkbox"/> 出張報告書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> | 備 考 |

- 3 届出事項の変更等 なし あり (内容は裏面に記載)

旅 費 の 精 算

- 精算額は、令和5 年 1 月 19 日届け出た額 (45,180 円) と同一額である。
- 届出事項の変更等により、別途精算する。(精算額は裏面に記載)

(裏面)

届出事項の変更等の内容

変更等の事項と理由

| | |
|------------------|--|
| 支 出 額 | |
| 精 算 額 | |
| 支出 差引 額 戻入 | |

変更前と後の日程

| | 月 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 |
|----------|---|---|---|---|---|---|---|
| 前 発着地 | | | | | | | |
| 後 | | | | | | | |
| 前 経 路 | | | | | | | |
| 後 | | | | | | | |
| 前 用務先 | | | | | | | |
| 後 | | | | | | | |
| 前 宿泊先 | | | | | | | |
| 後 | | | | | | | |

「財政基礎研修 Level2 決算カードでわかる我が街の財政徹底解説編」を学んで

日本共産党市議団

山本直弘

2月8日（水）～9日（金）の2日間、東京都有楽町で「決算カードでわかる我が街の財政徹底解説編」を受講しました。

昨年の「世界一わかる自治体財政編」に続いての受講ですが、今回は前回の復習を皮切りに、様々な市の財政状況を通じて決算カードの見方を学びました。

まず講師は、自治体財政固有の用語（「歳入」「歳出」など）はあるが、自治体財政も基本的には家計と同じであること、しかしその中でも、必ずしも利益が出ることが良いとは言えないこととして、考え方の相違があることを強調されていました。

収入では、地方税は「給料」、地方交付税は「義務的な仕送り」、国庫支出金（補助金）は「プラスの仕送り」、そして地方債は「住宅ローン」として、自治体の歳入を家計に置き換えてわかりやすく説明されました。また、一般財源は、自治体がやりたい施策を実行できる基幹的財源であり、一般財源が少なければ、特定財源である国庫支出金、地方債なども入ってこないことがよく理解できました。

次に、「支出の基礎徹底解説」では、まず「歳出の原則」として「収入の範囲で最大の福祉を実現する」ということが強調されました。一見至極当然な事のようにですが、企業や個人のように借金することができず、範囲が制限されていて、国の財政統制制度に服さなければならない自治体としては、強調されてしかるべき原則です。

具体的な要件として、①住民のニーズに合った事業を行っている（ex. 住民が必要とする福祉サービスが足りない一方で、建てた公共施設が誰にも使われない）②費用が最も少ない（ex. まったく同じサービスをやっているのに、一方は1時間で済んでいるのに対して、他方は5時間もかかっている）が挙げられました。その上で歳出の分類には、教育や福祉のためなどの行政目的ごと分類する「目的別歳出」と、給与や建設に使われるなどの経済的な性質ごとに分類する「性質別歳出」があること、自治体財政の分析にとっては、性質別歳出の方がより重要であることが説明されました。

尼崎市の性質別歳出では、市民一人当たりのコストで扶助費が類似団体60自治体の中で4番目に多い164,302円、公債費が同5番目に多い56,063円であることが資料として示されました。これは、尼崎市の行政支出の中で、社会保障関連経費、借金返済が多いことを示しています。それぞれの歳出項目の大きさだけをみず、その中に含まれる自治体にとっての本当の負担分である一般財源を見ること、建設費（投資的経費）はその後の維持管理がすべて自治体の一般財源の負担で賄われなければならないこと等も、非常に重要な論点であると思いました。

他都市との比較を通じて、尼崎市の財政状況を決算カードで学ぶことで自治体財政を非常にわかりやすく学ぶことができました。

今回学んだことを、今後の議員活動に生かしていきたいと思えます。